

素案に対する各委員からの主な意見及び計画への反映状況等について

1 各委員からの主な提出意見について

委員名	目標値① 『1人1人当たりごみ排出量』	目標値② 『リサイクル率について』	素案(内容)について
青山 直人 委員	案2 (東北地方平均水準)	特になし	○グラフ表示の見せ方の工夫について
竹中 義道 委員	案3 (青森県平均水準)	特になし	特になし
一戸 善正 委員	2/5以降提出	2/5以降提出	2/5以降提出
佐々木 重光 委員	案2 (東北地方平均水準)	特になし	特になし
森 隆 委員	案2 (東北地方平均水準)	特になし	○処理費高騰対策やごみ減量化に向けたごみ袋の有料化など
西田 文豪 委員	案2 (東北地方平均水準)	特になし	○出前講座、施設見学など気づきの機会の継続実施
鈴木 将司 委員	案2 (東北地方平均水準)	○一層の分別推進により、排出量削減に取り組んで欲しい	特になし
三津谷 あゆみ 委員	案1 (全国平均水準)	○全国平均水準を意識すべき	○食品ロス削減に向けた「てまどりの推進 ○生ごみの処理や洗い物に水が少なくてすむ調理の工夫等の紹介など

(1)目標値①について

本計画の目標値①「1人1日当たりごみ排出量」について、3パターンの案(全国平均、東北地方平均、県平均水準)を提示したところ、委員8名中5名の委員が本市の生活環境を踏まえた実現可能性が高く、一定の減量努力を促す水準であるとして、案2(東北平均水準)を選択した。

(2)目標値②について

本計画の目標値②「リサイクル率」について、循環型社会の構築に向けて、これまでの取組の更なる強化などにより、現状から5.5ポイント増の19.2%の目標値を提示したところ、鈴木委員から、「一層の分別推進により排出量削減に取り組んでほしい」、三津谷委員から、「全国平均水準を意識すべき」との意見があり、他の委員からは特に意見はなかった。

(3)素案(内容)について

目標値を除く素案(内容)について、委員8名中4名の委員から14件の意見があった。委員提出意見の本計画への反映状況については以下のとおり。

■委員提出意見の本計画案への反映状況

項目	反映	実施段階 検討	反映困難	計
第2章1節 ごみ処理の現状及び課題	3	2	0	5
第2章4節 ごみ処理に係る施策と 具体的取組	4	5	0	9
計	7	7	0	14

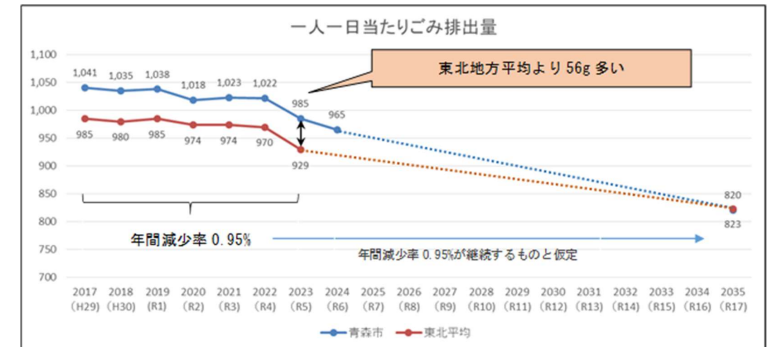
2 提出意見を踏まえた計画案の概要について

各委員からの提出意見を踏まえて、事務局において計画案について以下のとおり整理した。

(1)目標値①「1人1日当たりごみ排出量」

実現可能性と意欲向上のバランスが取れた(案2)「東北地方全体の平均水準」を目標とし、計画期間の終期である2035年度までに、現状から15%削減(820g/人・日)を目指す。

《目標値案2「東北地方全体の平均水準を目標」》



◎ごみの削減や分別の徹底など、これまでの取組の更なる充実に加え、本市のごみ組成分析において高い割合となっている、食品ロスを含む生ごみや水分の削減に重点的に取り組むことなどによって、計画期間中の達成は可能と見込む。

(2)目標値②「リサイクル率」

全国のリサイクル率が減少傾向にある中、委員からの意見の趣旨とも整合することから、計画期間の終期である2035年度までに現状から5.5ポイント増の19.2%を目指す。

<5.5ポイント増の内訳>

- これまでの取組の更なる充実(約2.5ポイント増)
- 市民・事業者との連携による分別(約2ポイント増)
- 製品プラスチックの分別収集(約1ポイント増)

(3)主な取組(新規・拡充項目)

各委員からの意見を踏まえ、ごみの発生抑制と分別意識の向上を一層推進するため、以下の項目に重点的に取り組む。

- ① 「3つのきる(使いきる・食べきる・水をきる)」運動の推進
- ② 食品ロス削減に向けた啓発イベント等の実施 【委員意見反映】
- ③ 家庭系・事業系ごみ処理手数料の在り方の検討 【委員意見反映】
- ④ プラスチック使用製品廃棄物の分別収集の検討
- ⑤ リチウムイオン電池等の適正処理の推進